

# 速野カナリヤ保育園

日時：平成 18 年 1 月 13 日(月) 13:00 ~ 17:00

平成 18 年 1 月 16 日(木) 9:00 ~ 17:00

場所：守山市木浜町 1 6 6 7

速野カナリヤ保育園は、「びわこ地球市民の森」の近くにあります。「びわこ地球市民の森」の芝生原っぱと森をフィールドとしたプログラムができました。

## 「自然と友だちになろう」のプログラム

芝生のグラウンドで、走ったり、寝転がったりして芝生の感触を楽しみます。また自然の中にある色で「色鬼ごっこ」をしてあそび、自然の中にはいろいろな色があることに気づくプログラムです。



おもしろいな。もっと転がりたい



綿がついてる。タンポポの種かな？

タンポポじゃないよ

空は青だけや



色鬼ごっこ：鬼が言った色を探しながら、鬼から逃げる。



赤い葉っぱの木にタッチ。

雲や山も見えるで

冬になったらどんな色になっているかな？  
春になったらどんな色になっているかな？  
今度はお家の人と一緒に見に来てほしいです。



妖精からの手紙



この木、マツボックリのお母さんやったんや

マツボックリは赤ちゃんやったんや。

どこかに妖精いるんとかがう

お手紙の絵と同じ宝物を見つけてきたよ

もしかすると親子？



宝物発表

ぼくは、パイナップルみたいな木の实を見つけたよ。

みんなが見つけてきた木の实は赤ちゃんでした。マツボックリの中には種がありました。見つけてきた木の实はお母さんのところに還すことになりました。

## 「木の枝のようにつながろう！」のプログラム

森の中で、様々な木の感触を味わったり見たりして、木の枝の広がりを感じます。自分たちも木の枝になってみることで、木が支えあって生きていることを知り、人も助け合っていることに気づくプログラムです。



ザリザリしてる。

チクチクしてるで。



木の枝のようにつながってみよう。

木がおしくらまんじゅうになっている。

モミジさん一つちょうだいね!



冷たいところと温かいところがあるよ。



葉っぱの中には葉っぱじゃないものもあるんやで(種のこと)

木は、そうやって続いているんや。

採ったら葉っぱがかわいいそうや

モミジの種は風で飛ばされ、土の上に落ち、芽が出て、木になり、葉っぱや種ができます。自然のものはこうして増えていきます。いっぱい命を採ったらどうなるかな?一つひとつが大事な命です。自然物は助け合っています。みんなも助け合っていますね。

モミジの種飛ばし

参加された先生の

声



下見では、子どもたちの目線に立って、草原を観察してみました。

木の実が木の赤ちゃんということがわかり、大事にしないといけないという気持ちが子どもたちの中に育ってきた。自然を大事にするということが環境学習だと感じた。

自然を見つめ直して、保育に取り入れたいと思っていた。自然の中で学んだ命の大切さを、明日の保育に生かしていきたい。

「汚れるからいやだ」と芝生に寝転ばなかった子どもも、ゴロゴロと転がっていた。また寝転がって空を見ていると、空の色だけでなく、「ヒコーキが見えるで」「ニューヨークに行くんや」「上からタコみたいな宇宙人が出てくるんや」など会話が弾む。子どもたちがいろいろ想像することができたいい時間だった。

Q & A

(解答: 講師 環境レイカーズ代表 島川武治(しまっち))

Q: むやみに草木を採ってしまう子どもたちにはどのように教えたらいいでしょう?

A: 草木を採ってしまったときに、「採ったらどうなるんやろう」とそのつど問い返してみる。子どもたちに、採ったらどうなっていくのか。どうすればいいのか。確認をしていくことで、子どもたちはわかってくれます。また採った後の実物(枯れた草木、切り口など)を見せながら、その行為がどういう結果をもたらすのか、まわりの生き物にどんな影響があるのかを考えてみるのもよいでしょう。